

風水害は台風の進路などから災害のピークを予測することができます。ピークを迎える前に早めの避難行動をとりましょう。

いろいろな「避難の仕方」があります

立退き避難

今いる場所から安全な場所へ移動することを「立退き避難」といいます。町指定の避難所だけでなく、安全な知人宅など様々な避難先を考えておきましょう。

町指定の避難所への避難



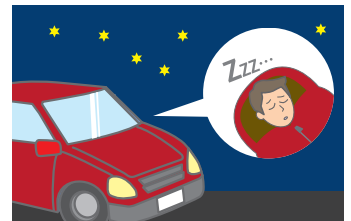
安全な親戚、知人宅への避難



安全な宿泊施設への避難



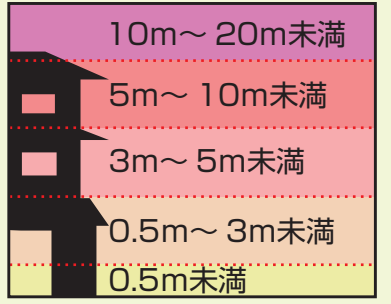
安全な場所へ移動して車中泊



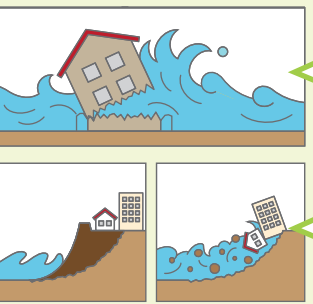
垂直避難（屋内安全確保）

次の3つが確認できる場合は、自宅の2階以上の安全な場所に避難する「屋内安全確保」をすることも可能です。

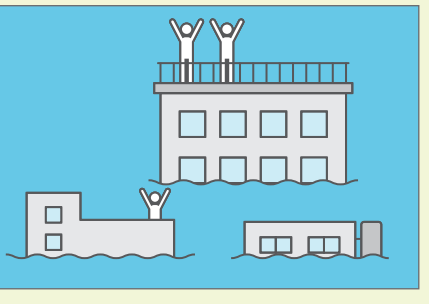
① 浸水深より居室は高いか



② 家屋倒壊等氾濫想定区域※に入っていないか
※家屋倒壊等氾濫想定区域については次のページで確認しましょう。
岩手県のホームページで範囲を確認することができます。



③ 水がひくまで生活できるか、
水・食糧などの備えは十分か



避難の方法

避難するときは、歩いて避難することが望ましいですが、歩いて行ける距離に避難先がない場合や、身体が不自由な方と避難する場合などは、車などその他の移動方法を考える必要があります。浸水や土砂災害が発生しているときの避難は危険ですので、早めの避難を心がけましょう。

歩いて避難



車で避難



浸水すると車が動かなくなったり、ドアが開けなくなったりします。車を使用する場合は早めに避難しましょう。

バスやタクシー



運休する可能性があるため、その他の移動方法も考えておきましょう。早めの避難が大切です。

コラム（洪水に関するその他の情報）

洪水のおそれや危険性を示す情報として、浸水の範囲と深さを示した「洪水浸水想定区域」以外にも様々なものがあります。大槌町防災ハザードマップ上に掲載している情報の他に、岩手県ホームページなどに掲載している情報もありますので、パソコンや携帯電話・スマートフォンから確認してみましょう。

家屋倒壊等氾濫想定区域について

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの区域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定しています。この区域は、そこに留まることで被害にあう危険性があるため、**早期の立退き避難が必要です。**
家屋倒壊等氾濫想定区域には**氾濫流**と**河岸侵食**があります。

氾濫流



はん濫した洪水の流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域

河岸侵食

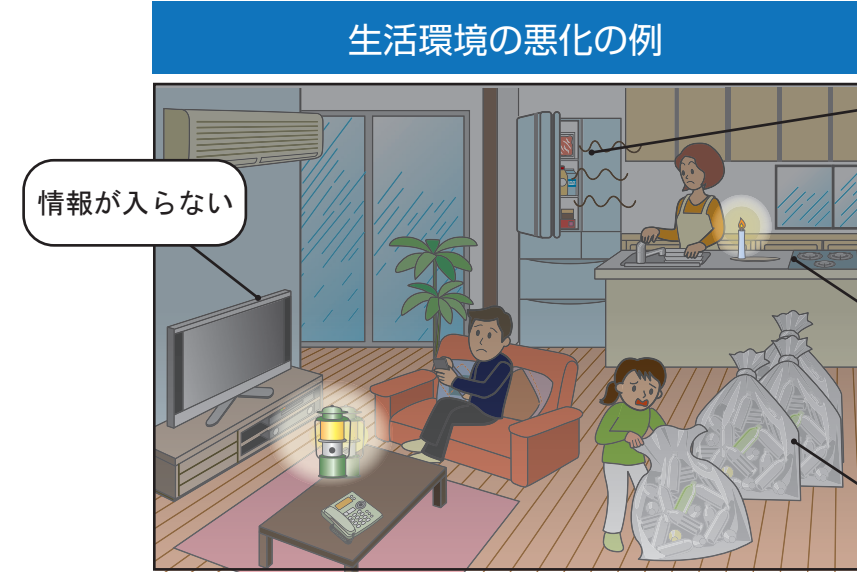


洪水の際に河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれがある区域

浸水継続時間について

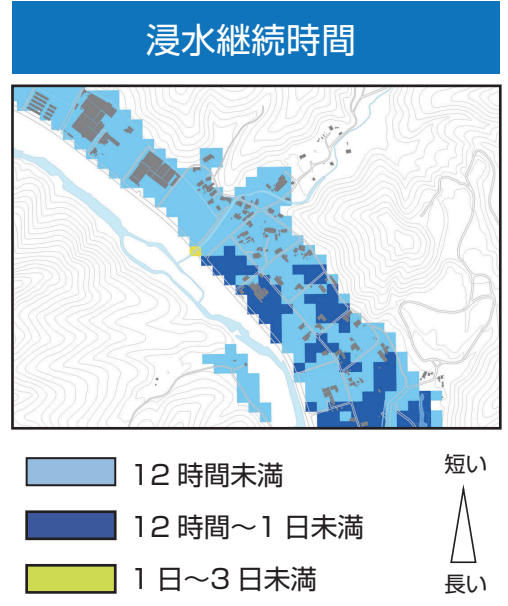
浸水深が50cmを超えてから再び50cmを下回るまでの時間を浸水継続時間といいます。浸水時には電気や上下水道などのライフラインが止まるため、浸水継続時間が長い地域にお住まいの方は早めの避難、備蓄品の準備をしておきましょう。

生活環境の悪化の例



情報が入らない
食料が不足する
電気、水道、ガスが使えない
ゴミが溜まって衛生環境が悪くなる

浸水継続時間



12時間未満
12時間～1日未満
1日～3日未満

短い
長い

家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水継続時間を表示したマップが岩手県のホームページで河川ごとに公開されていますので、確認してみましょう。

岩手県 洪水浸水想定

検索

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/bousai/1009822/index.html>